

ふじ山ココロの Legacy プロジェクト

富士山と歴史文化のもとで、日韓が美術で交流

富士山国際美術展

Mt. Fuji International Art Exhibition

出品作家：徐庸宣（ソヨンソン）、崔石鎬（チェソクホ）
丁彩僖（チョンチェヒ）、長谷川真弘（はせがわまさひろ）
+学生展示（常葉大学 造形学部）

入場無料

午前10時～午後4時
2017年9月2日（土）～9月10日（日）

Japan×Korea
Art and Vimukti

【イベント】

アーティストトーク

9月2日（土）午後2時～3時

入場無料

会場：日蓮宗弘法山 三澤寺（本堂）

〒419-0303 静岡県富士宮市大鹿窪 3 3 2

Santaku-ji Temple 332, Oshikakubo,

Fujinomiya, Shizuoka, 419-0303, Japan

アートと
解脱展


beyond
2020

ふじ山ココロの Legacy プロジェクト

三澤寺がある柚野地域では、縄文時代初期から人が定住していたことで遺跡や出土品が多数発掘されている。また、戦国武将や日蓮上人ゆかりの寺が点在し、富士山信仰と深く関わってきた。三澤寺も、その一つである。この歴史文化の宝庫である場所を舞台に、日韓現代美術作家が展示を通して歴史文化の美しさ素晴らしさを再認識させてくれる。

At the Yuno area where Santaku-ji Temple is located, a lot of historical sites and artifacts have been excavated because people have settled around there since the early Jomon Period. In addition, temples that is remembered in connection with Samurai load and Nichiren are scattered, and It has been involved strongly with Mt. Fuji worship. Santaku-ji Temple is also one of them. You can re-recognize the beauty and splendor of historical culture through this exhibition of contemporary artists from Japan and South Korea at this place which is the mine of history and culture.

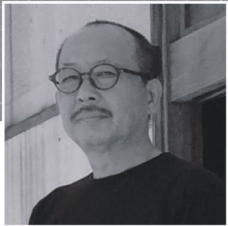
出品作家プロフィール

徐庸宣 Suh Yong-sun
(ソヨンソン)



1986年ー2008年ソウル大学校美術大学西洋画科教授。1995年よりアメリカ・ベルモント滞任制作、ドイツ・ハンブルグ招待教授、フランス・パリ客員教授/インターナショナルプログラム、オーストラリア・メルボルン/シドニー滞任制作など世界各地で活動。眼の前に広がる自然風景や状況、あるいは自らを取り囲んでいる世界を感じながら、自画像のように体験してきた数々の記憶を描き出す。「人間の美質」に迫る屈指の作家。韓国の主要な美術館で展覧会を開催。2009年「今年の作家」国立現代美術館（韓国）に選出。2015年高野山開創1200年特別企画「いのちの交響」。国立現代美術館、ソウル市立美術館等コレクション多数。

崔石鎬 Choi Suk-ho
(チェソクホ)



1999年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。1995年大阪トリエンナーレに出品した「幸福の門」をはじめとする「門」シリーズ、輪切りの原木や枯葉、朽ちた大木を生かした力強く繊細な造形作品は、木という自然に精神性を付与するものとして高い評価を得る。近年では「積む」という人間の行為を問う作品を展開。2011年相生森林美術館（徳島）、穴栗市庁ホール（兵庫）にて展覧を開催。パークヒルズゼンポー大手前ビル、鳥取県岩見町役場等にモニュメントを設置。大阪トリエンナーレ銅賞、2003年大阪市都市環境モニュメント大賞受賞。2015年高野山開創1200年特別企画「いのちの交響」。

丁彩禧 Jung Chae-hee
(チョン チェヒ)



2001年中央美術学院壁画科卒業。中央美術学院壁画科にて、中国美術史と伝統技法や表現を研究。漆画作品で、2002年中央美術学院展示館にて大規模個展を開催。2003年帰国後は、GALLERY ARTSIDE（ソウル）にて韓国で最初の個展を開催。因縁、関係、消滅などの主題を、自然のイメージを借用した心像風景を多数発表した。石川国際漆展入賞、India 国際壁画フェスティバル、国際アートフェアなど国内外の発表は100回を超える。現在は、ソウル大学校で壁画と漆の伝統技法や材料を教えながら、漆を中心として平面や立体など表現を拡大し活動している。2014年 A deep room, Saemteo Gallery（ソウル）、2016年 A Artist's room, Art Space Qulia（ソウル）。

長谷川 真弘 Hasegawa Masahiro
(はせがわ まさひろ)



「仏画教室金剛会」代表。2014年常葉大学造形学部造形学科日本画専攻卒業。大学で日本画を6年間学び、平面作品や立体作品など様々な表現方法を用いて、仏教をテーマにした作品を国内外で発表している。2013年パリ、2014年にはニューヨークで仏画を即興で描くライブパフォーマンスを披露。2015年パリで開催された「ジャパンエキスポ in Paris」では、招待作家として展示およびライブパフォーマンスで高い評価を得た。2020年東京五輪の文化プログラムを企画立案する「文化芸術アソシエイツ」としても活動している。2015年 AIR in Misumi（島根）、2016年 Overseas/Domestic Leading artists Invitation（韓国）、日韓現代美術交流展 - CONNECT -（京都）、Arts in Bunkacho ～トキメキが、爆発だ～（東京）。

主催：富士山国際美術展実行委員会

共催：仏画教室 金剛会

協賛：(株)オリオン産業、(株)小澤電工、金森美容院、カラオケうっち〜、(有)サノ文具、光玉母食堂 めししんちゃん、和風料理 花月

協力：日蓮宗弘法山 三澤寺、山本豊、若林巧

後援：常葉大学、静岡新聞社・静岡放送、岳南朝日新聞社、富士ニュース社、ラジオf、富士宮市相撲連盟

お問合せ：富士山国際美術展実行委員会 長谷川 Tel 080-5159-0527

翻訳・坂間友一 デザイン・西脇玉己